

Norbert KRAUSE 教授 特別講演会報告

環境に配慮した有機合成：触媒、溶媒、再利用性



目で見る
海外講師講演会

澤間善成*

Environmentally Responsible Organic Synthesis:
Catalysts, Solvents, Recyclability

Key Words : gold, catalyst, water, recycle

<開催時期> 令和5年11月27日(月)
<開催場所> 大阪大学薬学部4号館 講義室1
<講師> ドルトムント工科大学
Norbert KRAUSE 教授

11月27日に、独国ドルトムント工科大学、Norbert KRAUSE 教授が薬学研究科に訪問され、「Environmentally Responsible Organic Synthesis: Catalysts, Solvents, Recyclability」というタイトルで講演頂いた。

近年、環境に優しいグリーンな有機合成手法の開発が望まれており、無尽蔵な資源である水を溶媒とした反応が注目されている。KRAUSE 教授は、水中でも金触媒が失活しない反応条件を発見し、さらに金触媒を再利用できる素晴らしい触媒システムの開発などにも成功された。これら手法を用いて、新たな生物活性が期待されるユニークな複素環化合物を構築している。



講演風景



講演後、参加者全員での集合写真



Norbert KRAUSE
1959年9月生まれ
Technical University of Dortmund
化学科
Full Professor Ph.D
専門/Organic Chemistry
E-mail : norbert.krause@tu-dortmund.de

講演会の時間のみならず、その後も多くの職員・学生と議論頂けたことに非常に感謝している。世界の最先端の化学に触れることで、学生のモチベーションの向上に繋がる意義ある会であった。

最後になりましたが、本特別講演の開催にあたり、生産技術振興協会・海外講師講演会奨励事業からの多大なご支援を頂きました。厚く御礼申し上げます。

*講演会主催者 大阪大学大学院薬学研究科 准教授